

## 「個人投資家の役割」

慶應義塾湘南藤沢高等部 三年 平賀 伊保里

「株と賭けにだけは手を出したくない。」

株式学習ゲームを始める前の私の正直な株に対する印象はそのようなものだった。新聞やニュース、私がよく読む推理小説の中では株に失敗してなどの理由で破産する人が多く、失敗するぐらいなら一般の人が手を出さなければ良いのにと思っていた。私にとって株とは、トレーダーのように株取引に特化して資産を運用する特殊な仕事か、生活に余裕のある人が行う道楽のようなものだった。

株式学習ゲームを実際に行うことになっても私は冷めたままだった。株を学んでも将来自分が活用できるはずもなく、中途半端なゲームとして学んでも何も身に付けられることはないだろうと。実際始めのうちはきちんと残高を計算できずに株を買うことができなかつたり、利益が出ない株をすぐに売ってしまったりしていた。そんな中私は授業で「エコ・ファンド」というものがあることを知った。社会貢献を行う環境関連優良企業に対して株主が後押しする、という意思表示であり、より良い社会を目指す第一歩でもあるこのエコ・ファンドの存在から、株に対する私の印象は変わっていった。今までは利益を出すための一つの方法でしかないと思っていた株が、個人の社会に対する意見を企業に伝えることができる、意思表示の手段でもあると知ることができたのだ。

私は今回の株式学習ゲームで株の怖さと難しさ、そして面白さを知ることができた。今回私たちは一日単位で株の売り買いをしたため実際とは異なるが、それでも総資産額は毎日かなり変動していた。少しの差で大きな利益を手に入れたり、逆に大金を失ってしまうことから病みつきになってしまう人も多いため、一般の人がはじめての

一歩を踏み出すことはなかなか難しいと思う。そこで前述のエコ・ファンドのように個人が気軽に企業、また社会に意思表示をすることができる一つ的手段としてならば、個人投資家もはじめての一歩を踏み出しやすいと感じた。環境関連優良企業や特色のある企業が株によって一般市民の応援を感じることができるならば、それを活力にしてさらに業績を上げることができるだろうし、そうすれば社会にとっても意義のあることであると思う。実際、株の取引をすることで日本経済の活発さや社会の動きを身をもって感じることもできた。もし自分の生活が破綻しない程度に投資できる個人株主が増えれば、私たちにしても株・経済は身近なものになると思う。また個人投資家が企業の経営や成果を純粹に評価できることになったならば、企業の努力が認められて日本の経済はもっと活発になり優良企業が増えると思う。

このように株式学習ゲームは社会・経済の動きや個人の社会的責任を考えさせてくれる良いきっかけとなった。株式学習ゲーム中は毎日新聞を読み、今まで気にもしていなかった経済面や、その他のニュースについても普段以上に考えさせられた。株は企業や社会の成長を手助けする一つ的手段である。日本に個人投資家がもっと増えれば社会の動きやニーズに敏感な企業が増え、より良い社会を構築する原動力になると思う。株式学習ゲームが終わってもこれらに関心を持ちつつ日々生活していきたいと思う。